

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です  
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

# Information

参加者・演題募集中

新人育成

全国訪問看護事業協会  
訪問看護師基礎研修会  
訪問看護の第一歩

4・10月／大阪・東京

受講者募集

日時：

〈大阪〉4月18日(金)・19日(土)  
〈東京〉10月10日(金)・11日(土)

会場：

〈大阪〉新梅田研修センター(大阪市福島区)  
〈東京〉研究社英語センタービル(東京都新宿区)

対象：訪問看護ステーション従事者(訪問看護経験おおむね2年未満)

定員：約120名

プログラム：

〈1日目〉訪問看護の制度の理解  
訪問看護の実践と訪問看護利用者の理解・他職種との連携、グループワーク——魅力的な訪問看護とは

〈2日目〉リスクマネジメントの視点、家族支援、訪問看護における接遇

講師：

〈大阪〉井上多鶴子(板橋区医師会高島平訪問看護ステーション)、阿部智子(訪問看護ステーションけせら)、齋藤雅子(恵光訪問看護ステーション)、野崎加世子(岐阜県看護協会訪問看護ステーション)、船戸美幸(Office Ships)

〈東京〉椎名美恵子(訪問看護ステーションみけ)、岩間慶子(青

葉区メディカルセンター訪問看護ステーション)、松井知子(せたがや訪問看護ステーション)、野崎加世子

参加費：会員1万2000円、非会員2万5000円

申込方法：ホームページより申込書ダウンロードのうえFAX、または電話にて

問 全国訪問看護事業協会事務局  
03-33351-5898  
03-33351-5938  
http://www.zenhokan.or.jp/

認定看護師教育課程  
2014年度愛知県看護協会  
摂食・嚥下障害看護  
願書受付5月15日／愛知

開講期間：10月～2015年3月(6か月)  
募集人員：30名  
受験資格：以下の要件をすべて満たしているもの  
①日本国の看護師免許を有すること、②看護師免許を取得後、通算5年以上(入学時点で可)実務研修を行っていること、③次の看護分野の実務研修を行なっていること(通算3年以上、摂食・嚥下障害患者が多い病棟、外来、または在宅ケア領域での看護実績を有すること)「摂食・嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること」「現在、摂食・嚥下障害患者の看護に携わっていること」が望ましい

願書受付期間：5月1日(木)～16日(金)消印有効

入学検定料：5万円  
費用：

〈入学金〉会員5万円、非会員7万5000円

〈授業料〉会員70万円、非会員105万円

\*会員とは、入学手続き時点で日本看護協会会員のもの

入学試験科目：筆記試験(専門基礎科目、専門科目、小論文)、面接試験、事例報告(出願時の事例報告を採点)

試験日：6月1日(日)9時30分～16時

会場：愛知県看護協会看護研修会館(愛知県名古屋市)

資料請求方法：返信用封筒(A4サイズ、切手240円分を貼付)に宛名を記入したものを同封のうえ郵送にて

問 愛知県看護協会  
認定看護師教育課程教務担当  
〒466-0054  
名古屋市中区丸の内1-18  
052-8711-0761  
052-8711-0757  
FAX 052-8711-0757  
aikai-enge@earth.ocn.ne.jp  
http://www.aichi-kangokyo.kai.or.jp/

全国訪問看護事業協会  
精神訪問看護集中講座  
精神科訪問看護基本療養  
費算定要件研修会

7・10月／大阪・東京

日時：

〈大阪〉5月12日(月)～16日(金)  
〈東京〉10月27日(月)～31日(金)

会場：

〈大阪〉大阪マーチンダイズ・マート会議室(大阪市中央区)  
〈東京〉電設工業厚生年金基金会館(東京都新宿区)

対象：訪問看護ステーション管理者・従事者、精神科訪問看護・精神科看護に従事する方

定員：約80名

プログラム：

〈1日目〉自己紹介、グループディスカッション、基礎知識①「精神障害者への理解」  
〈2日目〉訪問看護の実践①「精神訪問看護の基礎」、基礎知識②「制度・関係する法の概要」、同③「精神保健医療施策における保健・医療サービス供給システム」  
〈3日目〉基礎知識④「在宅福祉サービスの現状」、同⑤「社会活動参加への支援」、同⑥「精神科リハビリテーションの概念と実際」、同⑦「精神科疾患における薬物療法・服薬管理・副作用」  
〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

精神科訪問看護

全国訪問看護事業協会  
精神訪問看護集中講座  
精神科訪問看護基本療養  
費算定要件研修会

7・10月／大阪・東京

受講者募集

日時：

〈大阪〉5月12日(月)～16日(金)  
〈東京〉10月27日(月)～31日(金)

会場：

〈大阪〉大阪マーチンダイズ・マート会議室(大阪市中央区)  
〈東京〉電設工業厚生年金基金会館(東京都新宿区)

対象：訪問看護ステーション管理者・従事者、精神科訪問看護・精神科看護に従事する方

定員：約80名

プログラム：

〈1日目〉自己紹介、グループディスカッション、基礎知識①「精神障害者への理解」  
〈2日目〉訪問看護の実践①「精神訪問看護の基礎」、基礎知識②「制度・関係する法の概要」、同③「精神保健医療施策における保健・医療サービス供給システム」  
〈3日目〉基礎知識④「在宅福祉サービスの現状」、同⑤「社会活動参加への支援」、同⑥「精神科リハビリテーションの概念と実際」、同⑦「精神科疾患における薬物療法・服薬管理・副作用」  
〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

〈4日目〉訪問看護の実践②「困難な課題がある精神障害者への対応」、事例検討、グループ検討、

全体発表

〈5日目〉訪問看護の実際③「精神障害者をもつ家族等への支援」、同④「再発の早期発見と医療継続への支援」、特別講演「地域で生きる精神障害者」

備考：本研修会の受講により、保健師・看護師・作業療法士の有資格者には精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅳの算定に関わる修了証を、准看護師の有資格者には精神科訪問看護基本療養費Ⅰ・Ⅲ・Ⅳの算定に関わる修了証を発行する  
参加費：会員3万円、非会員6万円

申込方法：ホームページより申込書を印刷のうえFAX、または電話にて

問 全国訪問看護事業協会事務局  
☎03-33551-5009  
FAX03-33551-5038  
http://www.zenhokan.or.jp/

地域ケア

第5回ナイチンゲールKOMIケア学会

6月7・8日／愛知

参加者募集

日時：6月7日(土)・8日(日)  
会場：名古屋今池ガスホール(愛知県名古屋市中)

テーマ：人々に第一級のケアを届けよう

プログラム：

〈1日目〉一般講演「介護保険関連施設におけるケア」、ほか  
〈2日目〉第一級のケアを基礎か

らとらえ直す「ナイチンゲール看護師訓練学校における初期の教育課程」金井一薫(東京有明医療大学)、第一級のケアをコミュニティに創る「初期集中支援」をとおしてこれからの地域ケアのあり方を探る「片山智米(ナースケアステーション)」、ほか

参加費：・  
〈3/14〉会員1万1000円、非会員1万3000円  
〈当日〉会員1万3000円、非会員1万5000円

申込方法：「KOMIケア通信8号」同封の申込書またはホームページにて

問 ナイチンゲールKOMIケア学会事務局  
✉komiho@ases.or.jp  
http://komi.or.jp/gakkai-anna.html

認定看護師

日本訪問看護財団認定看護師のためのフォロアアップセミナー

6月8日／大阪

受講者募集

日時：6月8日(日)  
会場：大阪(調整中)

ねらい：認定看護師としてのネットワークを広げる、認定看護師の存在価値について考える

プログラム：プロフェッショナルから学ぶ  
講師：石井美恵子(救急看護認定

看護師、元日本看護協会研修学校看護師教育課程救急学科主任教員、北里大学看護部臨床看護学部准教授)・中村伸一(医師・ケアマネジャー、福井県国民健康保険名田庄診療所所長、自治医科大学地域医療学臨床教授)

対象：認定看護師(全21分野)  
受講料：会員5000円、非会員1万円  
問 日本訪問看護財団(研修担当)  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-8-2  
日本看護協会ビル5階  
☎03-5778-7005  
FAX03-5778-7009  
http://www.jvnt.or.jp/

排泄ケア

第27回日本老年泌尿器科学会学術集会

6月13・14日／山形

参加者募集

日時：6月13日(金)・14日(土)  
会場：山形テルサ(山形市双葉町)

テーマ：安心で温かな「老年泌尿器ケア」の進歩のために  
プログラム：基調講演「排泄ケアの技術(アート)論」川嶋みどり(日本赤十字看護大学・健和会臨床看護学研究所)、特別講演「医療保険・介護保険のこれから」村上正泰(山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座)、シンポジウム①「在宅医療と高齢者がん医療」、同②「高齢者排泄ケアシステムの整備に向けて」、ほか

参加費：5000円(当日受付)、懇親会無料  
問 日本コンベンションサービス東北支社  
☎022-722-1131  
FAX022-722-1178  
http://jsu2014.umin.jp

高齢者ケア

日本老年看護学会第19回学術集会

6月28・29日／愛知

参加者募集

日時：6月28日(土)・29日(月)  
会場：愛知県産業労働センターウイंकあいち(愛知県名古屋市中)

テーマ：高齢者が主体的に生きることを支える老年看護学の探求  
プログラム：会長講演「高齢者が主体的に生きることを支える老年看護学の探求」百瀬由美子(愛知県立大学)、特別講演「高齢者と家族の意思決定を支える——最期まで自分らしく生きるために」清水哲郎(東京大学大学院)、教育講演①「科学的視点に基づく介護予防——高齢者の生活機能の維持と向上を目的として」鈴木隆雄(国立長寿医療研究センター)、同②「認知症高齢者の持てる力を引き出す看護」鈴木みずえ(浜松医科大学)、ほか

申込方法：ホームページより事前登録または当日受付にて  
事前登録期限：5月15日(木)  
参加費：・  
〈5/15〉会員9000円、非会員1万1000円、学生6000円(大学院生を除く)

問 オフィステイクワン  
〒461-0004  
名古屋市中区栄3-12-7  
☎052-930-6145  
FAX052-930-6146  
✉rounekango19@cs-oto.com  
http://www.cs-oto.com/rounekango19/

多職種連携

第7回日本在宅薬学会学術大会

7月20・21日／大阪

参加者募集

日時：7月20日(日)・21日(月・祝)  
会場：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)

会長：菅野 亘(合資会社どんぐり工房代表)  
テーマ：薬剤師3・0への挑戦——超高齢社会を支える新しい医療人をめざして

プログラム：基調講演「わが国の在宅医療介護の方向」武藤正樹(国際福祉医療大学医療経営管理分野教授)・挟間研至(一般社団法人日本在宅薬学会理事長・唐沢剛(厚生労働省政策統括官)、シンポジウム「在宅チーム医療における在宅医と在宅薬剤師の新たな連携」挟間研至・長尾和宏(医療法人社団裕和会長尾クリニック)・吉澤

非会員1万1000円  
〈当日〉会員1万円、非会員1万1000円、学生6000円(大学院生を除く)

孝明(医療法人社団愛語会要町病院)・加藤泰司(加藤整形在宅クリニック)・城戸哲夫(医療法人思恩会思恩クリニック)・木内祐一(昭和大学薬学部薬学教育推進室)・西村元一(金沢赤十字病院)、ほか

#### 参加費

〈5/30〉会員1万円、非会員1万5000円、学生5000円、懇親会8000円

〈当日〉会員1万2000円、非会員1万7000円、学生7000円、懇親会8500円

※日本在宅薬学会事務局

〒530-0004

大阪市北区天神橋1-9-5

山西屋・西孫ビル3F

☎06-4801-9566

☎06-4801-9556

http://congress.jahcp.org/

地域看護を深める

### 日本地域看護学会

#### 第17回学術集会

8月2・3日/岡山

参加者募集

日時: 8月2日(土)・3日(日)

会場: 岡山コンベンションセンター(岡山市北区)

会長: 岡本玲子(岡山大学大学院保健学研究科教授)

テーマ: 継承と変革——地域看護のアクションリサーチ

事前登録期限: 6月30日(月)

※締切後は当日会場にて受付

#### 参加費

〈6/30〉会員9000円、非

会員1万円、学生(院生を除く)2000円、懇親会7000円

〈当日〉会員1万円、非会員1万1000円、学生(院生を除く)3000円、懇親会8000円

※学術集会参加費は講演集代込み

プログラム: 特別講演「地域に根ざす相互扶助のアクション——

岡山のプライマリケア推進と30年の国際緊急人道援助の軌跡」菅波茂(特定非営利活動法人アムダ理事長)、公開シンポジウム「愛育委員会活動の継承と変革——愛育村指定・保健師の宿泊訪問から時代と歩んだ60年」大場エミ(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育推進部長)ほか、教育講演

①「アクションリサーチの成果を地域貢献へ——阪神淡路大震災が生んだクロスロード」矢守克也(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授)、同②「地域看護の専門性を高める省察的実践」田村由美(滋慶医療科学大学院大学教授)、同③「専門性の『継承』——地域看護・在宅看護への示唆」木村哲也(歴史民俗研究者、『駐在保健婦の時代』著者)／ほか

※岡山大学大学院保健学研究科岡本玲子研究室

〒700-8558

岡山県岡山市北区鹿田町2-5-

1

✉phn@md.okayama-u.ac.jp

http://www.convention-w.jp/17jchn/